



令和7年度 洞峰学園つくば市立東小学校グランドデザイン



洞峰学園教育目標：夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば洞峰学園の目指す児童・生徒像

・自ら考え、自ら学ぶ児童・生徒 ・心豊かで社会力のある児童・生徒 ・心身ともにたくましく健康な児童・生徒

1～4年

身近な人と関わりながら、学習習慣を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる児童

5～7年

地域の人と関わりながら、学んだことを生活に生かすことができる児童・生徒

8～9年

社会と関わりながら、主体的に学び、行動できる生徒

つくば市 目指す学園・学校

- みんなが幸せを実感できる学園・学校（自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校）

校 訓

自ら学び
心ゆたかに
たくましく

9年間の学びの連続性を大切にした教育の実践
・楽しく感動のある教育の実践 ・地域に根ざした教育の推進

学校の教育目標 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

学校の組織目標 1. 特別活動で協働して実践する力を育成する学年・学級経営
2. 意識改革と業務改善で進める働き方改革・45時間0（ゼロ）

研究テーマ 生活をよりよくするために協働して実践する力を育成する学級集団の育成
～傾聴する活動の工夫を通して～

自らの学び

【重点目標】教えから学びへ
～個別最適な学びと協働的な学びの実現～

1. 主体的・対話的で深い学びの実現
○自ら課題を設定し、他者と協働するなどして課題を解決する学習の充実に向けた指導計画の工夫
○学習意欲を引き出す課題設定の工夫や、考えを広げたり深めたりする発問の工夫
○習得した概念や考え方を活用し、新たな問いを見いだして解決する授業の工夫
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等を育む授業の工夫
○知識・技能の確実な習得を図るための体験的な学習や繰り返し学習の充実
○自分の考えをもち、他者の考えとの共通点や相違点を捉え、考えを深めていく活動の工夫
3. 個に応じた多様な指導方法及び指導体制の工夫改善
○チーム・ティーチングや習熟の程度に応じた学習、少人数指導の充実
○効果的な場面や方法を想定したGIGA端末の活用
○専門性を生かした教科担任制
4. どの子も活かし、どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり
【授業改善：教えから学びへ3つのポイント】
(1)自ら学ぶ意欲を高める
～学習課題へのこだわり～
・試行錯誤できる課題の設定
・解決の見通しをもたせる
(2)学び合うために
～対話へのしかけ～
・自分の意見をしっかりとらせる
・教師が対話を生みだすように発問する
・お互いの意見を共有するための指導、手立て
(3)学びを自覚するために（メタ認知）
～振り返りの工夫～
・時間を確保する
・視点を与える
～学びが連続する家庭学習～
・自分が分からない所、できない所を把握し、それを解決できる自律的な学習者を育てる

ゆたかな心

【重点目標】管理から自己決定へ
～自分で考え、判断し、行動するために～

1. みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動の充実
○自分たちで考え、判断し、行動する活動の重視
○発達段階に応じた当番活動と係活動の指導と評価
○いじめ等の未然防止につながる自主的な取組の推進
○異年齢集団の活動の日常化（登下校、清掃活動）
2. どの子も活かし、どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの考えで進める学級経営
【学年・学級経営の充実：管理から自己決定へ2つのポイント】
(1)学級経営で協働して実践する力を育む
～互いの価値観を尊重し、協調しながら解決策をみつける～
・相手の考えを理解するための傾聴の推進
(2)特別活動で協働して実践する力を育む
～対話を通した、多様な自己決定場面の設定～
・対話を通して納得解をつくるプロセスの重視
・係活動の充実 指導と評価の視点：
「進んで」「協力して」「工夫して」「責任をもって」
3. 道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
○「考え、議論する道徳」の推進
【指導方法の工夫7つの視点】
(1)書く活動の工夫 (2)教材提示の工夫
(3)話し合い方法の工夫 (4)表現活動の工夫
(5)板書の工夫 (6)説話の工夫
(7)発問の工夫
○感謝と思いやりの心を育てる人権、福祉体験活動の推進
4. 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
○「いばらき キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の推進
○自国文化や異文化の理解を深める国際教育の充実
○SDGs（持続可能な開発目標）時代におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進
○家庭との連携による情報モラル教育の推進

たくましさ

【重点目標】実践力へ
～健康で安全な生活を送るために～

1. 体力の向上
＜体育の時間に＞
○授業の導入におけるサーキットトレーニングの実施
○体力向上タイムの設定
＜昼休みに＞
○スポーツチャレンジの活用
○自発性を促す運動環境整備
・運動（遊び）の場の設定
・運動（遊び）道具の開発
・運動（遊び）の提供
＜家庭で＞
○動画を活用して
○体づくり運動（実生活に生かす運動）の計画・実践
2. 健康教育の充実
○学校栄養職員、養護教諭・担任との連携による食育及び保健指導
○「早寝早起き朝ごはん」運動の推進（毎月19日からの1週間を推進強化週間）
○飲酒・喫煙・薬物乱用防止・性・がんに関する指導の充実（外部講師の積極的な活用）
3. 安全教育の充実
～危険予測能力・危険回避能力の育成～
○安全について児童が自ら考える場を設定
○保健学習や学級指導を充実

安全・安心な学校づくり

1. 食物アレルギー対応力の向上
2. AED及び心肺蘇生法の定期的な研修
3. 地域との連携による学校防災連絡会議及び学校防災推進事業の実施

教師力・学校力の向上

1. 「教員の資質の向上に関する指標」を基にしたキャリアステージに応じた人材育成
2. GIGA端末の活用推進
3. 教員評価を活用した人材育成並びに学校活性化
4. 教員の業務量の適切な管理（働き方改革）の推進
5. 教育公務員としての自覚と服務規律の確保

地域とともにある学校づくり

1. 家庭・地域との連携・協働「社会に開かれた教育課程」の推進
○グランドデザインの周知
○研究機関等によるつくば科学出前レクチャーの実施
○学校支援ボランティア（学習活動支援、環境整備支援、安全確保、その他の活用推進）
○学校広報の充実
・教育活動の実事並びにねらいを明記したホームページによる情報発信の充実
・グランドデザインに基づく教育活動を展開する学校公開
○説明責任と学校・家庭・地域の連携教育による学校づくりを進めるための学校評価の活用
2. 保幼小連携協議会の定期開催並びに東幼稚園との交流・連携の推進
3. 地域との連携による学校防災連絡会議の開催並びに学校防災推進事業の実施
4. 洞峰学園コミュニティ・スクールにおける「地域学校協働活動」の推進